

『随想』

宇宙の神秘を思推おもう

佐伯 八枝子

(賛助会員 宮崎市恒久)

広大無限、宇宙とは能くも云いつる、我が住める此の地球も宇宙に存在する空間の物体なり。

物皆一時は存在すれど、やがては滅失消失するものなのか、……

広大無限でありても、それが自然の法則倫理なのか、と推おもう。

あらゆる生物、生きとし生ける動物、植物、微生物、細菌と云えども皆宇宙の物体と共に悠久の後、消滅するものなのか、また、新たに生じ繰り返しつゝ滅するのかわかぬ。実に宇宙・生物とは不思議な物体存在なり。我も其の一部であり物体なり。

我も精々生命の限り人間として生の意義を知り考へて宇宙最高の生物として、生命の維持に努め限られた生命

を全うしなければならぬ。

愛する地球、將又宇宙、此の広大な空間に浮遊し存在する物体に生息する生物、我は人間である。

人間は思考力を持つ生命体である。然而、創造する能力を持つなり。

父母の恩愛を受けて、此の世に生を享けたる我なれば、今七十六才にして病みおれども、頑張り自重して一日も長く、広大無限、光燦々たる此の世に生きて少しでも世の中、家族の役に立ちたい。

生命の終り安らかでありたい。

